

1. 指定管理者名	社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会
2. 指定期間	平成23年4月1日 ～ 平成28年3月31日
3. 業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関すること。 2 児童館の維持管理に関すること。 3 目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関すること。 5 事業評価に関すること。

4. 採点表										
評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、 105%未満～95%:4点、 95%未満～85%:3点、 85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値		105%以上 5点	開館時間中(10:00～18:00)、自由来館となっている。	
			②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、 105%未満～95%:4点、 95%未満～85%:3点、 85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値		95%未満～85% 3点	※平成25年度から移動児童館の人数の数え方を統一したため、平成24年度の人数の単純比較はできません。 ※来館者数と事業参加者は異なる数え方をしています。 ・全体でみると24年度より、小学生が1598名減少。また、中高生が145人増加した。理由は、24年度に小学6年生だった子が中学生になり、また来館してくれたためので、24年度より小学生の人数が減り中高生の来館が25年度に増加した。 【H25年度】来館者数 8804名 幼児1680名、小学生3877名 中高生427名、大人2820名 【H24年度】来館者数 10480名 幼児1768名、小学生5475名 中高生282名、大人2955名	
						平均値比(上記(2)適用) 87%≒利用人数(延べ8,804人)÷(20,305人÷2≒10,153人)				
(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)			15	仕様書以上:15～12点、 仕様書に忠実:11～9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、 それ以下:2～0点	・乳幼児対象事業(計105回開催、延べ2,133名参加) ・児童対象事業(計130回開催、延べ938名参加) ・多世代間交流事業(計20回開催、延べ757名参加) ・一般来館者対象事業(計72回開催、延べ404名参加) ・子どもボランティア事業(計13回開催、延べ53名参加) ・中高生事業(計57回開催、延べ66名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計31回開催、延べ66名) ※別紙:事業報告書 参照		仕様書に忠実 11点	・仕様書の事業をすべて目標回数以上行い、適正に実施した。 ・地域の行事や多治見市の行事に児童クラブが参加し、児童館活動を多くの機会にPRできた。 ・老人施設を訪問したり、福祉体験を通しておもいやりの心がもてた。また、季節行事や伝統行事を大切にし、多世代交流を積極的に行った。 ・毎月1度の移動児童館が定着し、利用者も増えた。 ・単発で行った乳幼児親子対象の「えいごであそぼう」「リトミック遊び」は定員を超過するほど好評行事だったので、平成26年度に通年の新規事業として取り組む。	11点	
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)					15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点、 例年よりやや劣る:8～7点、 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点				・地域の特性を活かした事業(計28回開催、延べ1,581名参加) ・自主事業(計6回開催し、延べ367名参加) ※別紙:事業報告書 参照
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況 (10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、 不備あり2点	・定期清掃・日常清掃を行って環境整備を整えている。 ・毎日館庭整備(枯れ葉掃き掃除、ねこのふん除去と消毒、草むしり)、週に2回の溝掃除を行った。	適正(普通) 2点	仕様書に定める回数、実施されている。	10点	
			②保守・点検			・電気工作物・運動遊具の保守点検は委託により実施。 ・館庭整備の一部は委託により実施。	適正(普通) 2点	適正実施されている。		
			③保安・警備			・非常通報装置・消防用設備の保安点検は委託により実施。 ・夜間の館内警備については委託により実施。	適正(普通) 2点	適正実施されている。		
			④小規模修繕			①誘導灯、看板修理②砂場用メッシュリート補修③遊戯室クロス補修④下水口補修⑤玄関廊下雨漏り補修⑥園庭平滑工事⑦バスケットゴール補強修理⑧和室カーテンレール取り付け修理⑨物置照明修理、かぎ調整修理①～⑨については、10万円未満であったため、仕様書の定めにより、指定管理者の負担で修繕を行った。	適正(普通) 2点	修繕箇所が発生した際は、遅滞なく対応がなされている。		
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			毎月1回職員による安全点検及び、業者による遊具点検を実施。	適正(普通) 2点	日常の業務の中で、危険箇所を把握し、適正に対応されている。		
		(2)その他管理業務の実施状況 (15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点、 適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	文章管理に基づき管理している。	適正(普通) 2点	必要な文書目録を作成、提出している。	11点	
			②環境への配慮			多治見市の環境方針に準じ対応。紙はリサイクル紙、裏紙も使用している。市役所や他の児童館等との連絡事項はメールで対応し、紙の利用を控えている。飲食を伴う行事は箸や器を持参してもらい、廃棄物の抑制に配慮している。冷暖房は28℃と設定し環境に配慮している。電気はこまめに切っている。午前中とはなるべく冷房を使用せず、プールの水で水打ちをし、暑さ対策をしている。	期待以上 3点	適正実施されている。		
			③バリアフリー			廊下から遊戯室・図書室はバリアフリー化。	適正(普通) 2点	適正実施されている。		
			④備品管理			備品台帳にそって管理している。	適正(普通) 2点	適正に管理されている。		

評価項目			細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
			⑤個人情報保護			社会福祉協議会として「個人情報保護管理規程」を制定し、適正に管理。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする 事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、 事故等の対応に不備あり:△1点	事故なし	事故なし・対応に不備なし 0点	事故が起きた際は、社会福祉協議会内での事故報告はその都度行われ、今後の事故防止に繋げる体制をとっている。	0点
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	10,147,000(収入)÷10,823,237(支出)≒0.94 94%	100%未満 3点	職員の人件費が支出のほとんどを占める。 また、毎年、修繕費が多くなるため赤字となった。	3点
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、 適正(普通):7～5点、 不備あり:4～1点	アンケートボックスを設置して随時、意見を受け付けるとともにクラブ、行事等後にその都度アンケートを実施している。	適正(普通) 7点	・乳幼児クラブでは、アンケート結果を、次期のクラブに取り込むことで対応している	7点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	苦情なし	苦情なし・適正(普通) 4点	社会福祉協議会として、苦情申出窓口を設置し、苦情対応責任者、苦情受付担当者、第3者委員を設置している。	4点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・多世代交流・地域の特性を生かした事業に力を入れた。 ・子どもスタッフの地域貢献の働きが認められ、教育長賞詞を授与された。 ・同指定管理児童館で共催事業を行い、校区外の親子の交流を図った。 ・社会福祉協議会の特性を生かし、障がい者、老人センターとの交流事業を行った。 ・社会福祉協議会の特性を生かし、障がい者、老人センターとの交流事業を行った。 ・館底整備を小まめに行い、児童の安全に配慮した。 ・特別支援学級の児童に対し、学校と連携して対応を統一することでサポートできた。	期待以上 12点	・立地の関係上、隣接する神社の山から館庭に陶器の破片が流れ落ちてきたり、木の枝が落ちてくる。また、猫の糞の被害もあるが、小まめに掃除・消毒を行い、安全な環境を維持している点は評価できる。 ・学校や地域と連携を行い、事業を実施していた。	12点
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、 一部遅れ・不備あり(中程度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、 対応等が期待以下(軽微):△1、 対応等が期待以下(中程度):△2、 対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。	0点
合計				100	【4段階評価】 極めて良好100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討44点以下			全体的な評価 ・概ね良好な管理がされている。 ・参加者の満足度、地域との連携など概ね良好である。 ・児童館の地区には、児童が少ないため、移動児童館や多世代間交流事業を積極的に実施している点は評価できる。	合計76点 良好